

## 令和6年4月 改定内容一覧表

	令和5年4月 図面番号	図面タイトル【現行】	改定理由等
	令和6年4月 図面番号	図面タイトル【改定】	
1	2-12	下水道用強化プラスチック複合管	過去の改定時の修正漏れによる特記事項1. の削除
	2-12	同上	
2	12-1	タイプ1及びタイプ2集水樹構造図	設置場所に関する特記事項1. の追記
	12-1	同上	
3	12-2	タイプ3集水樹構造図	設置場所に関する特記事項1. の追記
	12-2	同上	

改定後  
ページ

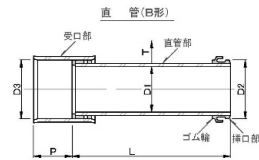
改定内容

新旧対照表

令和5年4月改定版

令和6年4月改定版

令和5年4月 横浜環境創造局



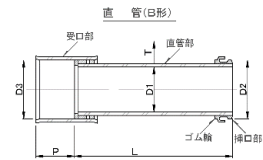
寸法表 (単位:mm)

呼び径	厚さ T	有効長 L	内径 D1	挿口部 外径		受口部 長さ		参考質量 (kg/本)
				D2	D3	P	許容差	
700	14.0	4000	700	748	750.5	200	274	
800	16.0		800	856	857.5		359	
900	18.0		900	950	951.5		454	
1000	20.0		1000	1058 ± 1.5	1059.5 ± 1.5	220	563	
1100	22.0		1100	1172	1173.5		682	
1200	24.0		1200	1276	1277.5		811	
1300	27.0		1300	1432	1433.5		1020	
1500	30.0		1500 ± 3.0	1588	1589.5	250 ± 10	1280	
1650	33.0		1650	1748	1749.5		1570	
1800	36.0		1800	1904 ± 2.0	1905.5 ± 2.0	300	1970	
2000	40.0		2000	2112	2113.5	330	2320	

- 特記事項
- 破線で示す形状であってもよい。
  - 有効長Lは、4000mm以下の他の長さとするができる。
  - 内径(D1)及び受口部内径(D3)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の内径測定値の算術平均値とする。
  - 挿口部外径(D2)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の外径測定値の算術平均値あるいは円筒長を円筒率3.1416で除した値とする。

下水道用強化プラスチック複合管  
規格図(1)  
(JSWAS K-2)

令和6年4月 横浜下水道河川局



寸法表 (単位:mm)

呼び径	厚さ T	有効長 L	内径 D1	挿口部 外径		受口部 長さ		参考質量 (kg/本)
				D2	D3	P	許容差	
700	14.0	4000	700	748	750.5	200	274	
800	16.0		800	856	857.5		359	
900	18.0		900	950	951.5		454	
1000	20.0		1000	1058 ± 1.5	1059.5 ± 1.5	220	563	
1100	22.0		1100	1172	1173.5		682	
1200	24.0		1200	1276	1277.5		811	
1300	27.0		1300	1432	1433.5		1020	
1500	30.0		1500 ± 3.0	1588	1589.5	250 ± 10	1280	
1650	33.0		1650	1748	1749.5		1570	
1800	36.0		1800	1904 ± 2.0	1905.5 ± 2.0	300	1970	
2000	40.0		2000	2112	2113.5	330	2320	

- 特記事項
- 有効長Lは、4000mm以下の他の長さとするができる。
  - 内径(D1)及び受口部内径(D3)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の内径測定値の算術平均値とする。
  - 挿口部外径(D2)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の外径測定値の算術平均値あるいは円筒長を円筒率3.1416で除した値とする。

下水道用強化プラスチック複合管  
規格図(1)  
(JSWAS K-2)

2-12

特記事項の修正

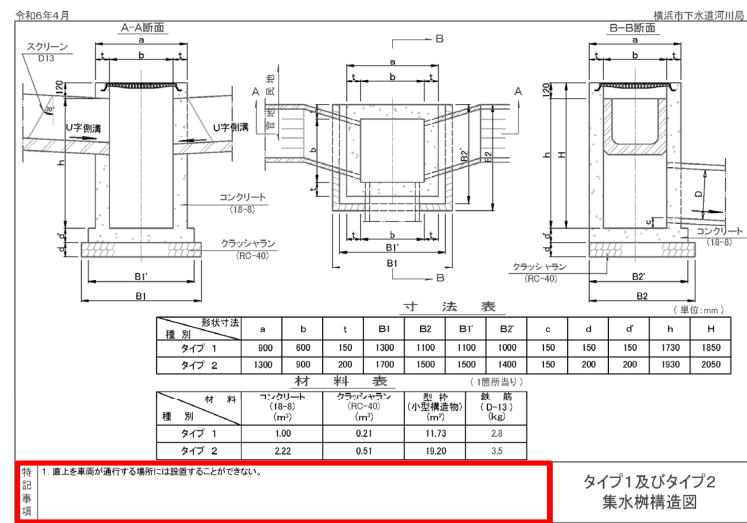
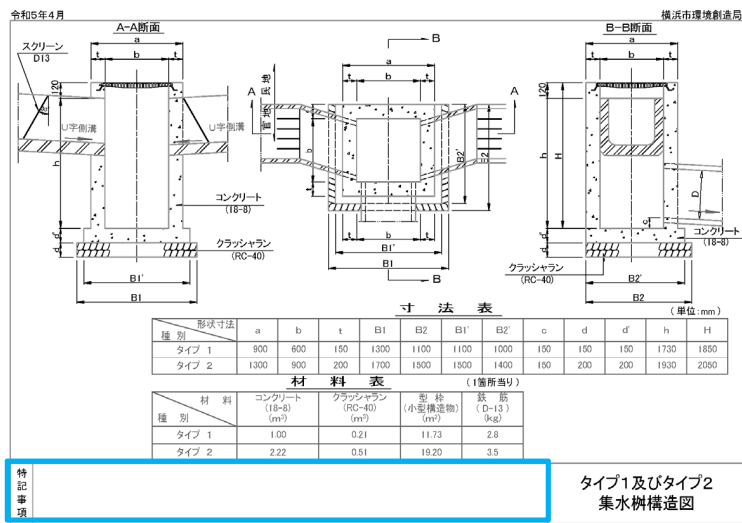
改定後ページ | 改定内容 | 新旧対照表

令和5年4月改定版

令和6年4月改定版

12-1

特記事項の追記



12-2

特記事項の追記

